

## 令和元年(2019年)6月 青果部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2019年6月 数量 (トン)	2019年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	人参	千葉県産中心の入荷でした。前進傾向により、入荷量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	419	134	97%	117%
2	キャベツ	千葉県(銚子)産、茨城県産中心の入荷でした。中旬から群馬県(嬬恋)産の入荷も始まり、入荷量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	917	80	123%	89%
3	野菜 トマト	北海道産、東北産中心の入荷でした。茨城県産、栃木県産も上旬まで順調な入荷により、入荷量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	499	255	112%	97%
4	レタス	長野県産中心の入荷でした。4月下旬から5月上旬にかけての低温等の影響により、入荷量は減少しました。平均単価は安く推移しました。	356	135	88%	85%
5	たまねぎ	大阪府産、兵庫県産中心の入荷でした。全体的に大玉傾向で入荷量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	635	79	89%	96%
6	西瓜	千葉県産、茨城県産中心の入荷でした。5月の遅れ分の出荷により、入荷量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	432	239	122%	113%
7	果実 アンデス	茨城県産中心の入荷でした。前進出荷の影響により、入荷量は大幅に増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	59	425	169%	106%
8	桜桃	山形県産、秋田県産中心の入荷でした。開花期の天候不順及び着果後の高温による生理落果等のえいきょうにより、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	33	2,127	59%	124%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上